東日本ユニオン
2017春闘NEWS
JR東日本労働組合
発責　本部企画部
2017 年 1 月 24 日 №3

2017春闘スタート

労使ともに賃上げに前向き

経団連は 1 月 23 日、東京都内において「労使フォーラム」を開催しました。榊原会長は「ボーナスや定期昇給を含む年収ベースでの賃上げ」を呼びかけ、相対する連合の神津会長は「賃金水準を一律に引き上げるベースアップが不可欠だ」との認識を示しました。

ベースアップに対する姿勢にズレはあるものの、労使ともに賃金上げには前向きな姿勢が示され、2017 春闘が本格的にスタートしました。

連合は「賃金は上がるという常識を取り戻す」と主張

＜経団連＞
経済の好循環をまわすという「社会的要請」を重視し、多くの企業で賃上げの勢いが継続されることを期待したい。

＜連　合＞
個人消費をけん引するまでの水準には達していない。消費を活性化させるには賃上げが必要だ。賃上げの流れを継続させたい。

＜経団連＞
年収ベースでの賃上げに前向きな検討をお願いする。賃上げは「定期昇給、ベースアップ、一時金の増額、諸手当」が柱となる。

＜連　合＞
年収ベースでの対応は違う。月例賃金は上がっていくという常識を取り戻さないと、本当の意味でのデフレ脱却はできない。賃金水準を一律に引き上げるベースアップが不可欠だ。「2%程度を基準」とするベースアップを求める。

ベースアップを基礎とした賃上げを勝ちとろう！